

宮私幼だより

No. 136
 社団法人 宮城県私立幼稚園連合会
 〒980-0803
 仙台市青葉区国分町三丁目6-12
 佐正第二ビル6F
 TEL 022-263-7040 FAX 263-7925
<http://www.miyashiyo.or.jp/>
 編集・発行人
 理事長 村山 十五



事務局だより

○関係機関団体

- 5月10日 幼稚園等新規採用教員研修会（7/24・7/27・8/3・8/10・8/23 県庁講堂他）
- 5月11日 仙私幼PTA連合会（仙台市民会館）
- 5月25日 宮私幼振興対策協議会総会（旭ヶ丘市民センター）
- 6月7日 宮私幼PTA連合会総会（仙台市民会館）
- 6月18日 文部科学省との耐震化等防災機能強化に関する意見交換会（県庁講堂）
- 7月24日 幼稚園10年経験者研修（8/3・8/23 県庁講堂他）
- 8月1日 幼稚園教育課程研究協議会（県庁講堂）
- 8月6日 免許状更新講習（第1回・必修）（戦災復興記念館）
- 8月18日 免許状更新講習（第2回・選択）（戦災復興記念館）
- 8月19日 免許状更新講習（第3回・選択）（戦災復興記念館）
- 8月27日 次世代育成支援対策地域協議会（自治会館）
- 9月5日 福島原発事故対策みやぎ県民会議（県庁講堂）
- 9月14日 仙私幼教育振興大会・仙私幼PTA研修大会（仙台市民会館）

○全日私幼連

- 5月8日 理事会（東京）
- 5月23日 定時総会（東京）
- 6月22日 第20回東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会（山形大会）
- 7月22日 第1回東北地区会（山形市）
- 7月5日 緊急幼保一体化対策本部会議（東京ガーデンパレス）
- 8月23日 第3回幼児教育実践学会（東京家政大学）
- 9月21日 102条園研究会議（東京）

○宮私幼のあゆみ

- 4月6日 研究委員会
 - 4月18日 総務給付委員会
 - 4月20日 研究委員会
 - 5月2日 常任理事会・総務給付委員会合同会議
 - 5月8日 決算監査会
 - 5月9日 研究委員会
- （2頁に続く）



巻頭言



宮私幼理事長 村山 十五

運動会、遠足等野外活動の季節となりました。先生方のアイデアが園児募集に影響するとも言われています。夏休み中の研修会で会得した保育技術を遺憾なく発揮してほしいものです。さて、今年の夏は、予想以上に暑く、預かり保育の子供たちも毎日のように水遊びをして楽しんでいましたが、昔のような海水浴とか、お祭りでの楽しい夏休みの思い出を語ってくれる子どもが少ないような気がいたします。この夏、国会では、幼保一体化法案が成立しました。今後、保育園化する幼稚園が増えてくることが予想されます。親子での夏休みの楽しい思い出や炎天下で遊んだ暑い思い出が少なくなり、先生方の自己研鑽の時間も少なくなる可能性があります。幼稚園にとってプラスにならない制度になりはしないかと一抹の不安を抱えての二学期になりました。施行まであと3年、会員の先生方の意見を聞きながら、できる限り子どもにとって、幼稚園にとってもいい制度になるよう国会等に働きかけてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

震災から2年、南三陸町のあさひ幼稚園と山元町のふじ幼稚園の仮設園舎が完成し、保育を再開いたしました。関係各位のさまざまな支援活動に改めて感謝いたします。一方、まだ、再開もできない幼稚園や仮園舎での保育を余儀なくされている幼稚園があります。町の復興計画の遅れ等が影響しているとも言われています。できる限りの支援をしたいと考えております。また、福島に近い地域の幼稚園では、園庭の除染対策が急務となっております。このことについても行政当局に働きかけているところであります。

このほかに、幼稚園専用バスのチャイルドシート取り付けや学校法人会計基準の変更などが検討されております。詳細は全日私幼のホームページに掲載しますので、月1回程度は検索閲覧することをお勧めします。



以上9月30日まで

7月16日	庄子美智子氏(なかの幼稚園元園長)ご逝去	7月10日	理事会
5月1日	社会貢献支援財団による東日本大震災貢献者表彰受賞 (石巻みづほ幼稚園園長 津田廣明氏・法山寺幼稚園理事 長 北村泰秀氏)	5月17日	推薦委員会
4月29日	齊藤芳子氏(利府聖光幼稚園初代園長)ご逝去	5月18日	研究委員会
4月17日	春の叙勲(瑞宝双光章)受賞 清野幸雄氏(東仙台幼稚園園長)	5月25日	第1回通常総会(旭ヶ丘市民センター)
9月25日	臨時総会(東京エレクトロホール宮城)	6月1日	研究委員会
9月14日	緊急理事会・広報委員会	6月6日	総務給付委員会
9月7日	常任理事会・総務給付委員会	6月13日	研究委員会・第1回地区研修担当者連絡会議・春の叙勲受賞祝賀会
8月27日	石巻地区設置者園長会議(石巻市・ひばり幼稚園)	6月25日	宮城野地区・塩釜地区緊急園長会議
8月23日	多賀城)	6月26日	経営委員会
8月22日	大崎地区設置者園長会議(大崎市・レストランスギヤマ)	6月29日	常任理事会
8月22日	塩釜地区設置者園長会議(多賀城市・キャッスルプラザ)	7月3日	総務給付委員会
8月23日	気仙沼・登米地区設置者園長会議(南三陸町・南三陸町)	7月4日	研究委員会
8月23日	テル観洋)	7月11日	研究委員会
8月23日	名取・岩沼地区設置者園長会議(岩沼市・岩沼南こばと幼稚園)	7月17日	養成校との懇談会(仙台ガーデンパレス)
8月20日	名取・岩沼地区設置者園長会議(岩沼市・岩沼南こばと幼稚園)	7月25日	理事會・広報委員会
8月8日	総務給付委員会	7月30日	中堅教員研修会(震災復興記念館)
8月8日	仙台地区設置者園長会議(旭ヶ丘市民センター)	7月31日	土壌検査について・仙南地区園長打合せ
8月7日	総務給付委員会	7月31日	フオーアアップ研修会(震災復興記念館)
8月6日	仙台地区設置者園長会議(旭ヶ丘市民センター)	8月3日	未満児保育研修会(震災復興記念館)
8月6日	総務給付委員会	8月6日	10年経験教員研修会(震災復興記念館)
8月8日	名取・岩沼地区設置者園長会議(岩沼市・岩沼南こばと幼稚園)	8月7日	仙台地区設置者園長会議(旭ヶ丘市民センター)
8月8日	名取・岩沼地区設置者園長会議(岩沼市・岩沼南こばと幼稚園)	8月8日	総務給付委員会
8月20日	名取・岩沼地区設置者園長会議(岩沼市・岩沼南こばと幼稚園)	8月8日	総務給付委員会

平成24年度宮私幼地区別設置者・園長会議報告

経営委員長 末屋 保広

今年度の設置者・園長会議が8月7日の仙台地区を皮切りとして、27日の石巻地区まで7回に渡って行われました。昨年度は東日本大震災後とあって、園舎の修繕工事や原発の放射能等の問題についての話題が中心でしたが、今年度は復興元年としての色々な事案や、政府の幼稚園向けの政策の内容等が各地区で話し合われました。

宮私幼の経営委員会からの説明では、①今年度の県内在園児数が福島県から避難者の影響等により前年度より千数百名の増加となった。②保育料等の納付金や職員給与等は前年度とさほど違いは無い。③宮私幼と養成校との懇談会の中で、「最近の学生は保育所志向が強い。また、正職員として

の採用を強く望んでいる。」等の意見が出ました。なお、次年度の新入園児募集は、例年通り10月1日募集開始で11月1日願書受付と決定しております。

今回の園長会議では、各地区各園において震災後の復旧や復興で確実に前に進んでいる話が多く出ていたようでしたが、村山理事長からの中央情勢の話題提供では、「新しい認定こども園の拡充制度は決して幼稚園にとってバラ色の未来とは言えない。園長先生方におかれては、くれぐれも軽々な判断をせずに情勢をしっかりと見きわめることが大事だ」との話をいただいた事を最後に申し添えて、ご報告とさせていただきます。

夏休みの研修を振り返って

【研究委員会】

連日の猛暑の中ではありますが今年も宮私幼主催での研修会を7月30日の中堅教員研修を皮切りに開催しました。

・中堅教員研修会 7月30日……………135名

「幼児期における保護者支援」(桜の聖母短期大学西内みなみ先生)
「支援を必要とする幼児その発達の理解と保育について」(S・空間 谷地ミヨ子先生)



・フォローアップ研修会 7月31日……………130名

初めての試みとして経験年数2～3年目の先生方を対象とし、「クラス経営について」(宮城学



院女子大学附属幼稚園色川幸子先生)、「自己点検と自己課題の発見」(参加者によるワークショップ)を行い、お互いの体験や保育の悩みについて語り合うことで自らの保育についての振り返りを行っていただきました。

・未満児保育研修会 8月3日……………49名

「乳幼児の疾病と事故防止及び対応」
(仙台市立病院 村田祐二医師)



・10年経験教員研修会 8月6日……………88名

「幼稚園教育要領について」(尚綱学院大学石田一彦先生)「幼児の発達と課題」(岩手県立大学井上孝之先生)



・新任教員研修会 8月8日・9日……………126名

「望ましい教師の姿」「こどもの姿と遊びについて」「災害時における危機管理について」



各講座において定員を上回る参加希望があり、ご迷惑をお掛けいたしましたことお詫び申し上げます。次年度の課題として検討いたします。各園多忙の中、教員の皆さんを派遣して下さった各幼稚園の理事長・園長先生のご協力に感謝申し上げます。

平成24年度第1回宮私幼通常総会

平成24年5月25(金) 13:00～ 仙台市旭ヶ丘市民センター4Fホール

去る5月25日平成24年度第1回宮私幼通常総会が開催されました。鎌田副理事長の開会挨拶、村山理事長の挨拶がありました。来賓の宮城県私学文書課長の大森様の挨拶では、私立幼稚園皆様方の1日も早い教育現場の正常化のための懸命な努力に敬意を表するとともに、被災在園児、新入園児への支援、若い芽を将来に向かって育てていくためにも運営費の施設復旧支援のほか園児の就園支援、カウンセラー派遣、保育料の減免支援など震災からの復興を引き続き支援していきたい。また、県で昨年3月策定した「学ぶ土台づくり」推進計画を今年度本格的に実施するにあたり、幼稚園、保育所、小学校のほか家庭や地域と連携し、就学前の幼児教育を充実させ将来学力向上に繋げる主旨は、宮城の復興のためにも子どもの健やかな成長が必要不可欠であり、幼児教育についてこれまで蓄積されてきた豊富な経験や知識を持っている各幼稚園の役割が重要になると思われます。皆様方のご理解とご協力をお願いしますと挨拶されました。

続いて渥美宮私幼PTA会長からの祝辞では、震災から1年が経過し貴会と力を合わせ「復興元年」とし、子どもたちの保育・教育環境の整備・充実に

頑張っていきたいと、議会中で欠席のため司会(安藤T)が代読しました。

その後議長として、尚綱幼稚園の岩倉先生と、小さき花幼稚園の京先生が選出されました。定足数の確認に移り正会員185名のうち、出席101名、委任状52名 計153名で、本総会が成立したことを確認し、議事録署名人は、矢本はなぶさ幼稚園稲富先生、若林幼稚園の佐藤先生が選任を受け、議事が進行されました。報告事項として吉岡理事から社団法人宮城県私立幼稚園連合施行規則の一部改正で役員選任第3条理事候補者の改正が設置者別学法部会を無くしたため推薦委員会選出が5名から6名に改正された旨報告され、東日本大震災義援金の状況について報告がありました。議事では第1号議案、第2号議案関連性があり一緒に審議され、平成23年度事業決算報告についてそれぞれ報告があり、監事の監査報告がなされ、全員異議なく承認されました。第3号議案役員の改正、平成24年度の事業、予算についても審議され承認されました。

その後その他で子育てシステムについてお話があり、佐藤副理事長の閉会の言葉で総会の一切が終了しました。



Close・up 理事会

平成24年度宮私幼理事会の概要

【第1回理事会】

日時 5月10日(木) 午後3時～
場所 宮私幼会議室
議事

1 報告事項について

- (1) 社団法人宮城県私立幼稚園連合会施行規則の一部改正について
- (2) 東日本大震災義援金の状況について

2 平成24年度第1回通常総会の議案について

- 第1号議案 平成23年度の事業報告について
第2号議案 平成23年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計・受託事業決算報告並びに監査報告について
第3号議案 役員の改選について

【第2回理事会】

日時 7月25日(水) 午後3時～
場所 宮私幼会議室
議事

- (1) 地区別設置者園長会議の日程及び内容について
- (2) 「白書」及び「40周年記念誌」の発行について
- (3) 東京電力被害報告書提出(東京電力と宮城県原子力対策室)について
- (4) 被災した幼稚園の実状と義援金の配分について
- (5) 一般社団法人移行の契約について
- (6) 平成24年度宮城県私立幼稚園教育振興大会・第41回

宮城県私立幼稚園PTA研修大会の役割分担について
(7) 養成校との懇親会の報告

【緊急理事会】

日時 9月14日(金) 午後2時～
場所 宮私幼会議室
議事

- (1) 一般社団法人移行に伴う臨時総会の日程(案)について
臨時総会：日時 平成24年9月25日(火)午後2時～
場所 東京ILホール宮城 601会議室
- (2) 一般社団法人移行に伴う臨時総会の議案について
第1号議案 公益法人改革(一般社団法人移行)の基本方針(案)について
第2号議案 一般社団法人移行に伴う「定款の変更(案)」について

<参考資料> 一般社団法人移行スケジュール(案)

- (3) 平成24年度宮城県私立幼稚園教育振興大会第41回宮城県私立幼稚園PTA研修大会打合せについて

日時：平成24年10月3日(水)
午前10時30分～午後12時20分

場所：仙台市民会館大ホール

- ① 大会次第について
- ② 大会役割分担について
- ③ 大会宣言について
- ④ 案内する来賓と席次等について
- ⑤ 来年度の日程について
- ⑥ その他
- (4) 「東日本大震災に係る記録集等」について
 - ・「震災の記録」の進捗状況について
 - ・「白書」
 - ・「記念誌」
- (5) その他

新理事長・新園長紹介

こどもの心の育ちを目指して

こどもの国幼稚園 園長 堀籠 春美

こどもの国幼稚園は学校法人菅原学園の3番目の幼稚園として仙台市泉区の泉パークタウンに平成3年に開園しました。

本園には『健康なこども・思いやりのあるこども・考えるこども』という3つの目指すこどもの姿があります。これは私たち教職員にも必要とされる姿です。こどもたちと笑顔で接することが出来る心身の健康な教職員、こどもたちの喜びや痛みを知り、分かちあえる教職員、こどもたちとともになげ、どうして…を一緒に考えられる教職員です。私自身も30年以上の幼稚園教諭の経験を踏まえ、園長一年生として、この3つを実践出来るように努めています。

園の一日は園児や保護者との「おはようございます！」のあいさつから始まります。私も正門前で皆さんと朝のあいさつを交わしコミュニケーションをはかっています。

また、本園の特色のひとつである茶道の時間を年長組のこどもたちと行い、関わりを深めています。これからも、菅原学園の40年間にわたる幼児教育の根幹『あそびを通して調和のとれた心身の発達を促し、生涯にわたる人間形成の基礎を育む』と心に刻み、日々の教育にあたってまいります。宮私幼加盟幼稚園の園長先生方にはよろしくお願い申し上げます。



よろしくお願ひします

穀町幼稚園 園長 田村 茂

今年3月、大川中学校を最後に36年間の教職生活を終え、4月から穀町幼稚園にお世話になっております。

中学校教育から幼稚園教育へという、私にとっては未知の世界へ足を踏み入れた感じですが、しかし、わからないことは先生方に教えていただき、あるいは石巻地区の園長先生方にご指導いただきながら、なんとか1学期を乗り越えることができました。

今年は震災からの「復興元年」といわれております。まだまだ課題は数多くあります。今、私たちができること、それは未来の日本を担う子どもたち、将来無限の可能性を秘めている日本の宝である、目の前にいる子どもたちを立派に育てることが、我々幼児教育に携わる者の使命であると考えます。



子ども達と共に

築館聖マリア幼稚園 園長 仲鉢 玲子

昨年の4月より、梅津明生前園長の後任として就任致しました。

築館聖マリア幼稚園は、来年度で創立65周年の節目を迎えます。地域の皆様に支えられ、これまで歩んでこれました事に、心から感謝しております。

全職員が「1人ひとりを大切に」「1人ひとりに寄り添う」ことを心に刻み保育に取り組んでおります。また、毎日の祈りを通して、「神さまとおともだちを大切にする子ども」を目標に掲げております。

子ども達が小さいお手々を合わせ祈る姿は何ともほほえましく、愛しくもあり、凛々しさも感じます。こうした子ども達に囲まれて生活できますことに幸せを感じます。

子ども達と共に良き伝統を守りながら、新しいことにも挑戦していきたいと思っています。今後とも、皆様方のご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



事務局長としてお世話になります

宮私幼 事務局長 菅原 千博

5月1日から事務局長としてお世話になっている菅原と申します。昭和49年4月から総務部職員厚生課に配属され、県庁職員の福利厚生担当部署として、縁の下の仕事をして参りました。

平成19年4月から平成24年4月までは、財団法人宮城県文化振興財団（宮城県民会館）に在籍し、県民の文化・芸術の振興に携わり、普段ではお会いすることもできない一流アーティストの方々との交流する機会を得たことは、大変貴重な経験でありました。縁あって私立幼稚園連合会にお世話になることになり、福利厚生、文化芸術の振興から得た経験を生かし、私立幼稚園の一層の振興に少しでもお役にたてるよう頑張りたいと考えておりますので、ご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

趣味は「落語」「漫才」とか楽しく笑えるものであれば、なんでもOKです。



幼 女 子 と と き に

幼稚園訪問記・遠山幼稚園



〒985-0823 宮城郡七ヶ浜町遠山1丁目1-29
園児数（幼稚園・保育所合計）107名 8クラス
幼稚園（3歳児8名、4歳児26名、5歳児20名）
計54名

保育所（1歳児16名、2歳児10名、3歳児12名、
4歳児12名、5歳児3名）計53名

平成24年9月14日現在

今回は、8月10日に「子ども・子育て3法案」が国会で可決され、改めて「認定こども園」に関心が高まっているとき、最近幼保連携型の認定こども園として生まれ変わった学校法人同性寺学園遠山幼稚園・保育園を訪問しました。



園長 渡辺文雄先生

インタビューには渡辺文雄園長先生がお答えいただきましたが、奥様や二人の息子さんも係わっており、創設者故渡辺智明先生、今もご健在の理事長渡辺すみ子先生の精神を脈々と受け継いでおられます。

同性寺学園の前身は、昭和30年同町花瀨浜同性寺境内に和光保育園として誕生し、その後和光幼稚園として昭和39年に認可され、昭和43年

遠山幼稚園・保育園では

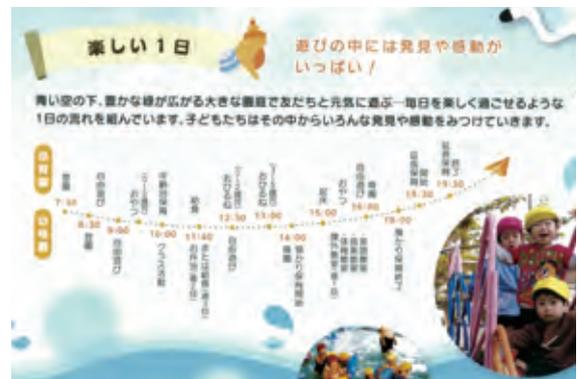
- 保育時間
（パンフレット楽しい1日から）
- 延長保育
幼稚園では午後6時まで、保育園では午後7時30分まで
- 給食
幼稚園では週2回お弁当、週3回給食
保育園では毎日完全給食
- 特色教育
 - ・ カワイ体育教室
 - ・ 町営プールでのスイミングスクール
- 未就園児教室
月2回、バスの送迎有り
- 通園バス運行

に遠山幼稚園が開園しました。昭和55年学校法人同性寺学園が認可され、昭和60年には汐見台幼稚園が開園し、同学園設立の3幼稚園がそろい、平成23年3月に遠山幼稚園、汐見台幼稚園が認定こども園として認可を受け今日に至っております。

認定こども園開園のきっかけは、先に七ヶ浜町が町内の幼稚園設置者への保育所設立の打診でした。手を挙げたのは当学園のみでしたが、それには膨大な自己資金が必要で躊躇しました。しかし、七ヶ浜町の後押しと平成22年度、23年度限定の「安心子ども基金」の補助をいただくことができ、調理室を作ったり、トイレを改修したり、エアコンを装備して保育所の設置基準を満たし、認定こども園の認可を受けることができました。

当日は、9月中旬にもかかわらず30度を超える真夏日(?)でしたが、子供たちは元気に活動していました。

<幼保一体の現状>



午前中にお邪魔したので、3歳児以上は幼稚園の子と保育所の子がそれぞれ一緒のクラスで活動し、5歳児はホールで組み体操の練習をしていました。12時30分までは幼保一緒に、昼食は幼稚園児が週2回お弁当、保育園児が完全給食で、同じクラスで別々なものを食べますが、今はさほど違和感がないということです。七ヶ浜町は他の市町村に比べて、



食材や教材・制服などの購入に寛容なので、バラエティーに富んだ給食もでき、4、5歳の保育園児も教材・制服が100%近く揃っています。3歳児については、認定こども園を始めるときに不要と決めました。それでも幼稚園とは違い、保育所は常に清潔を保たなければならないし、トイレには1、2歳児一人一人のおむつ入れを用意し、昼寝用の布団も常備し、毎日の給食を検食し、見本を保護者に見せなければなりません。



＜教育目標をお聞かせ下さい＞

幼稚園では、教育要領に則った教育を、保育園では保育所指針に則った保育を行っています。当園は松島湾の南部、温暖な気候の七ヶ浜町の住宅街に立地し、園の背後に松林があり、四季折々の自然にも恵まれていますので、それらの中で子供たちの心に幸福な思い出を残せるような保育を心がけています。また、仏教保育を基本としており、次の三つのことを教育目標としております。

和合精神：きまりをまもり、みんな仲良く集団生活をしよう。

生命尊重：生き物を大切にしよう。

報恩感謝：社会や自然の恵みに感謝しよう。

＜メリットや苦労話を教えてください＞

メリットとしては、なんとと言っても園児数がほぼ倍増し、保育所には毎月運営費が入ってきて安定した経営が出来ます。苦労話としては、保育園はほとんど休みがなく、前年度3月31日まで保育をし、新年度4月1日には入園・進級児の保育が始まらなければなりません。毎日の給食の検食もあり、責任者は気が休まる時がありません。幼保間で資金流用が出来ず、書類に関して煩雑で、定員増などの書類は、認可保育園と認定こども園の2種類を提出しなければならないし、運営費に関する書類も毎月提出しなければなりません。毎年分厚い『保育所運営ハンドブック』が変更になり、それらを遵守しなければなりません。そして、保育士の確保が難しいことなどをあげていただきました。全体的には七ヶ浜町のご協力もあり、認定こども園に認可されて良かったと言うことです。



瑞宝双光章受賞おめでとうございます

受賞者 清野 幸雄 先生 期日：6月13日（水）午後6時～ 会場：勝山館



発起人を代表して鎌田文恵副理事長より、10年以上も前から叙勲の話があり、この度受賞されることになったいきさつについて述べられ、村山十五理事長よりお祝いの言葉を頂きました。宮私幼、宮仏幼から花束と記念品の贈呈があり、清野幸雄先生から次のように御礼のご挨拶がありました。長い間幼児教育に携わることが出来たのは、宮私幼理事長はじめ、諸先輩、園、地域の方々のお陰と感謝いたしております。振り返ってみれば、宮私幼創立時、今は亡き何人かの先生方から多くのことを学びました。

発起人を代表して鎌田文恵副理事長より、10年以上も前から叙勲の話があり、この度受賞されることにな

5月31日にホテルオークラで伝達式が行われ、琴の演奏を聴きながら60年を思い出していました。その後に皇居に伺いましたが、バス36台、1,000人、しかも80歳前後の高齢者が多いので大変でした。天皇陛下はご退院されたばかりでしたが、幸い陛下が私の間近にお出でになり大変感激しました。

続いて、平成22年秋の叙勲で同賞を受賞された三宅光信先生の乾杯の音頭で祝賀会が始まりました。清野先生ゆかりの先生方からテーブルスピーチをいただき、和やかな中であっという間に時間が過ぎ、最後に横澤行夫先生お得意の「楽しくお酒が飲めるのは…」を全員で合唱してお開きとなりました。



養成校との懇談会

◆全体会とAグループ（4年制大学）

総務・給付委員長 吉岡 弘宗



仙台ガーデンパレスにおいて7月17日（火）13時30分から2時間30分の時間設定で、養成校との懇談会を行いました。県内外16校16名の先生方と、宮私幼の役員の先生方12名の参加にて行いました。2年ぶりの懇談会なので、事前に採用試験等の実態調査を行いました。今保育所・保育園に採用者が流れている現状で、幼稚園教諭採用試験をどのように考えるべきか？ヒントになる事はないのか？・・・4つの項目について調査しました。

①平成23年度の採用試験状況は？

②平成24年度の就職希望者は？

③平成24年度の採用試験は？

④学生が希望している採用条件は？

項目の回答の前に、宮私幼の現状の話題を村山先生・末屋先生・鎌田先生・小野寺先生と各々の立場の話をして頂きました。

①の回答：4年生大と専門学校生は、幼稚園と保育園と採用者数は、半々位でした。しかしながら短大生は、幼稚園が1で、保育園が2の割合でした。県内の採用者は、思いのほか県内出身者が、多数を占めているようでした。

②の回答：校種関係なく7割ぐらいが、保育園希望者です。



③の回答：今年も採用試験実施とすれば、関東圏が早くも実施済のようです。県内私立幼稚園も

早めに実施計画が出来るよう努めてください。

④の回答：初任給の数字的な所もありますが、先ず採用的には、正規雇用を求めているようです。就業時間も週40時間だとか、週休だとか、年休だとか、有給だとか、労働契約をしっかりとしなければならぬと思いました。以上実態調査のまとめの趣旨です。これらを基にして2グループに分かれてグループ討議にいたしましたので、それぞれの報告といたします。

◆Bグループ（短大・専門学校）

総務・給付副委員長 安藤 義憲

Bグループは短大5校、専門学校4校が参加し、教職員採用に的を絞り又事前におこなった実態調査の結果を踏まえ各校よりお話を受け意見の交換を行いました。

- ・まず雇用形態としては臨時採用ではなく正規採用してもらいたい。
- ・希望する職種としては幼稚園よりは保育園が多くなっている。これは仕事の内容に依るところと待遇の良さが保育園に目を向けさせているようである。
- ・待遇については自活できるくらいの給与を、男性の場合には結婚してからも生活できるくらいの手当を希望している。
- ・就職希望地区としては県内（地元）が多いが、待遇のこと（臨時か正職、待遇の比較、仕事の内容、求人施設数等）から関東地区に行く学生もいるとのことでした。

その他内定後に実習と称して手伝いを長期にしてもらうこと。採用する上に当たり明確な採用条件を示してもらいたい。幼稚園と保育園との基準を明確にしてもらいたい等の意見もあり学生の現状を知ることができました。以上のような事柄を記し報告といたします。



【表紙によせて】

遠山幼稚園での保育の様子

編集後記

宮私幼だより136号をほぼ予定通りお届けできました。

去る、8月10日、「子ども・子育て3法案」が国会で可決され、とりあえず従来型の幼稚園は残りそうです。しかし、この法律には様々な問題点を含んで

おり、混沌とした政局の状況で、今後どのようになるのか不安材料が多く、安心はできません。そのような中、最近認可された認定こども園遠山幼稚園・保育園を訪問し、従来より誌面を増やして掲載しました。町の後押しという事情があるにせよ、参考になれば幸いです。